

環境基本計画 事務局案の変更について

環境審議会等における意見及び変更内容

(1) 計画全般に関すること

項目・意見の概要	変更の内容
・政策目標の文言(修飾語)を統一してはどうか。	・「世界に <u>ひろげる</u> 低炭素社会づくりの推進」 ・「未来に <u>つなげる</u> 循環型社会づくりの推進」に統一する。
・「年長者」と「高齢者」や「企業」と「事業者」という言葉が混在している。統一してはどうか。	・「年長者」と「高齢者」⇒「高齢者」に統一する。 ・「企業」と「事業者」⇒「事業者」に統一する。 (一部の熟語等を除く)
・用語解説について、信頼性の低い出典元の記述は避けてはどうか。	・ウィキペディア等を出典元としていた用語の解説を削除。信頼のおけるものに変更する。 ・なお、用語解説は、素案として取りまとめる際には、巻末にまとめて掲載します。

(2) 第 1 部 計画の策定にあたって

項目・意見の概要	変更の内容
「第 1 章 北九州市のこれまでの取組」 ・産業界の取組みである北九州市環境産業推進会議についての記述を加えてはどうか。	・(6)に「北九州市環境産業推進会議」に関する記述を加える。 ・戦略プロジェクトとして「環境産業ネットワーク(北九州市環境産業推進会議)」を位置づけ、具体的な取組みを記述する。

(3) 第 2 部 北九州市環境基本計画が目指すもの

項目・意見の概要	変更の内容
「第 3 章 政策目標」の「4. 豊かさを支える生物多様性保全の推進と快適な生活環境の確保」 ・生物多様性の「復活」から「できる限り保全」に変更されている。表現が下がっているため、元に戻してはどうか。 ・その後、具体的な取組みを記述してあったが削除されている。元に戻してはどうか。	・「生物多様性を <u>できるかぎり</u> 保全する必要があります」から、「生物多様性の <u>保全と回復</u> が必要です」に変更する。 ・前回削除した「このため、多世代にわたる……」の文章を再度記述する。(ただし、後半部分については記述を変更する)

(4) 第 3 部 基本施策の展開

項目・意見の概要	変更の内容
<p>「第1章第2節 優れた環境人材の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公害克服から環境未来都市選定までの経験値を市民が共有しているのか疑問に思う。どのような人が、どのような努力をしたかの環境教育が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」に、これまで培ってきた経験の継承と活用に関する記述を加える。
<p>「第1章第2節 優れた環境人材の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全般的に人材育成に関する記述が少なく感じる。人づくりの原点は低年齢児からの教育にある。この点の記述を加えたらどうか。 ・学校での教育に加え、高齢者や主婦層への教育も必要ではないか。 ・市民センターを活用した講座等を行うことが必要ではないか。 ・大人から子供と一緒に体験することが必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもから高齢者までのあらゆる世代」という表現から「子どもから高齢者まで」を削除し、「あらゆる世代」とする。 ・(3)として、「あらゆる世代への環境教育・環境学習の充実」の項目を追加する。あらゆる世代に対する環境教育の必要性とともに、市民センターを活用した ESD 教育、親子での環境体験イベント等について記述を加える。 ・(4)の記述内容を変更 児童・生徒への環境教育の必要性を記述し、その後、保育園・幼稚園での取組み、学校での取組みについて記述する。
<p>「第1章第3節 環境情報の共有と発信」の【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを図ること、及び情報判断力について、記述を加えてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の例示を整理するとともに、双方向コミュニケーション、正確な情報提供と情報判断力に関する記述を追加する。
<p>「第1章第4節 国際的な協働・ビジネスの推進」【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境技術を途上国に輸出することは、輸出国...」の部分は、輸入国の誤りではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しくは、「輸入国の持続可能性・・・」であり、修正する。
<p>「第2章第1節 低炭素社会を支えるストック型社会への転換」の【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アジアを中心に環境技術の移転を進め、2,340 万トン削減」の部分に「<u>アジア地域で</u>」を加えたらどうか。 ・2050 年の長期目標に加え、中間目標(2030 年)を加えたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「アジア地域で」の文言を追加する。 ・中間目標(2030 年)に関する記述を加える。
<p>「第2章第1節 低炭素社会を支えるストック型社会への転換」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストック型社会に関する記述について、道路等に関する環境配慮について、記述を加えたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(2)に、まちの低炭素化促進、橋梁等の長寿命化に関する記述を加える。

項目・意見の概要	変更の内容
<p>「第2章第1節 低炭素社会を支えるストック型社会への転換」</p> <p>・(5)「緑化、森林の総合的な整備の促進」は、「緑化、森林の総合的な整備」でよいのでは。</p>	<p>・「緑化、森林の総合的な整備」に変更する。</p>
<p>「第2章第2節 低炭素化に貢献する産業クラスターの構築」の【現状と課題】</p> <p>・「低炭素社会を実現する上で、環境・資源制約に対する克服」の「環境・資源制約」がわかりにくい。</p>	<p>・「低炭素社会を実現する上で、環境・資源制約に対する克服」から、「低炭素社会を実現するためには、地球温暖化問題への対応や、地球上にある限られた資源という制約の中で経済活動を拡大していくこと」に変更する。</p>
<p>「第2章第2節 低炭素化に貢献する産業クラスターの構築」</p> <p>・(4)「事業所の高効率エネルギーシステムの構築」に関し、具体的な記述を展開してはどうか。</p>	<p>・戦略プロジェクトとして、「産業界における省エネ、省CO2の推進」、「北九州エコプレミアム産業創造事業及びエコアクション21認証登録支援事業」を位置づけ、具体的な取組みを記述する。</p>
<p>「第2章第3節 次世代エネルギー拠点の総合的な形成の【現状と課題】</p> <p>・「多消費社会から高効率にエネルギーを使う社会への転換」について、多消費と高効率を並べて記述するのはどうか。</p> <p>・「自立分散型」とあるが、「自律分散型」の方がよいのでは。</p>	<p>・「多消費社会から高効率にエネルギーを使う社会への転換」から、「エネルギー多消費型のライフスタイルを見直し、エネルギー資源を大切に社会に転換するなど」に変更する。</p> <p>・「自立・分散型」に変更する。(国の第四次基本計画(素案)に合わせた記述とする。)</p>
<p>「第3章第1節 総合的・先導的な廃棄物対策の推進(今回、最適な地域循環圏の構築に変更)」</p> <p>・製造業のリデュースについて記述してはどうか</p>	<p>・事業者のリデュースについては、「(2)事業系ごみの減量化・資源化の推進」、「(5)産業廃棄物排出量の減量化・適正処理の推進」において記述しています。</p> <p>・また、「第1章第1節 環境活動と地域コミュニティ活性化の好循環」に、(4)として、「事業者の環境活動の推進」の項目を追加し、この中でオフィス廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進について記述する。</p>
<p>「第4章第1節 生物多様性を大切にしまちづくり」の【現状と課題】</p> <p>・生物多様性に関する記述に加え、具体的な内容を加えてはどうか。</p>	<p>・本市の取組みに関する記述を加える。</p>
<p>「第4章第2節 安心して暮らせる快適なまちづくり」</p> <p>・(1)大気環境の保全、(2)水環境の保全に関し、「環境基準の維持・達成」とあるが、「向上」という言葉を入れてはどうか。</p>	<p>・(1)及び(2)について、「環境基準の達成、維持とともに、環境質の向上に努めます。」に変更する。</p>

(5) その他

項目・意見の概要	変更の内容
・財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)に関する記述を加えてはどうか。	・「第3部第2章第2節 低炭素化に貢献する産業クラスターの構築」の(2)に、財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)に関する記述を追加する。
・環境改善を何故進めなければならないかについての記述を加えてはどうか。	・素案としてまとめる際に、冒頭に、「はじめに 持続可能な社会の実現に向けて」の文章を加える予定です。この中で、地球環境問題やその解決の必要性などについて、記述します

※ 事務局による主な変更箇所については、審議会当日ご説明させていただきます

